

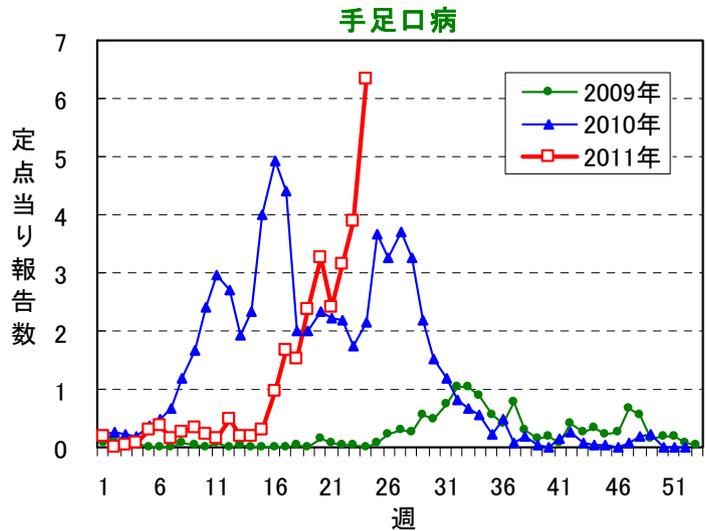
■コメント

1. 手足口病

定点当たり6.33人と引き続き増加しています。  
 手足口病は、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患で、コクサッキーウイルスA16型やエンテロウイルス71型などのエンテロウイルスによっておこります。今年は全国的にコクサッキーウイルスA6型が多く検出されています。  
 広島市では、数年おきに比較的大きな流行になる傾向があり(次頁参照)、今年は2005年以来の大きな流行になる可能性があります。注意が必要です。

2. ヘルパンギーナ

定点当たり1.21人とやや増加しています。  
 手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱は、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。例年この時期から夏季に向けて増加しますので、今後の動向に注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過平均去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過平均去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.09		ヘルパンギーナ	29	1.21	1.54	↗
咽頭結膜熱	7	0.29	0.75		流行性耳下腺炎	13	0.54	0.86	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.50	2.06	↗	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	98	4.08	5.43	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	28	1.17	2.18	↗	流行性角結膜炎	4	0.50	1.05	
手足口病	152	6.33	0.98	↗	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	24	1.00	0.50	↗	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	11	0.46	1.00		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.37	
百日咳	8	0.33	0.18		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	5	125	男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
3	細菌性赤痢	1	7	男性(10歳未満)
4	レジオネラ症	1	1	男性(70歳代)
5	麻しん	1	13	女性(40歳代)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第20週 第21週 第22週 第23週 第24週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
			9	8	28	108	21	78	21	12	4	9	11	-	-	11	-	1	4	-
定点当り	広島市	第20週	0.24	0.33	1.17	4.50	0.88	3.25	0.88	0.50	0.17	0.38	0.46	-	-	1.38	-	0.14	0.57	-
		第21週	0.11	0.29	1.63	4.46	1.17	2.42	1.00	0.75	-	0.63	0.50	0.08	-	1.75	-	-	0.14	-
		第22週	-	0.21	0.92	5.63	0.67	3.13	1.21	0.71	0.13	1.00	0.83	-	-	0.75	-	-	0.29	-
		第23週	-	0.54	1.04	4.75	1.33	3.88	1.04	0.38	0.25	1.04	0.46	0.13	-	0.38	-	0.14	0.14	-
		第24週	-	0.29	1.50	4.08	1.17	6.33	1.00	0.46	0.33	1.21	0.54	-	-	0.50	-	-	0.29	-
	全国	第22週	0.82	0.58	2.51	6.00	1.64	1.10	0.90	0.62	0.03	0.36	1.04	0.10	0.07	0.58	0.03	0.03	0.45	0.03
		第23週	0.53	0.72	2.54	5.61	2.09	1.68	1.04	0.60	0.03	0.56	0.91	0.10	0.05	0.72	0.04	0.03	0.59	0.02

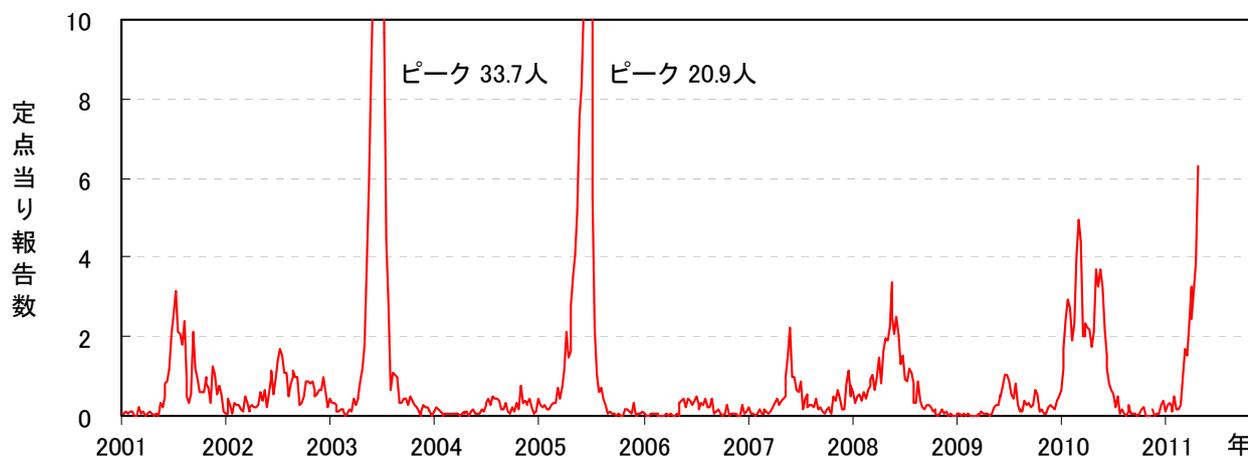
## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の神経系疾患	帯状疱疹 痙攣	11	男	2011/05/07	髄液	水痘帯状疱疹ウイルス
その他の疾患	嘔吐 意識障害 痙攣重積	6	男	2011/05/13	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市における手足口病の定点当り報告数の推移



広島市では、数年おきに比較的大きな流行になり、特に2003年と2005年の夏は大きな流行となりました。今年はずでに西日本で患者の報告数が増加しています。今後は夏季の流行のピークに向かって患者報告数は増加し、全国の保育園、幼稚園等の乳幼児の集団生活施設を中心に流行が広がっていくものと推察されます。手足口病の発生動向には今後とも注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.jp)

2011年第24週(6月13日~6月19日)